

広報 きたうら

昭和62年8月号 No.270

発行 北浦村役場 編集 調査企画室
茨城県行方郡北浦村山田2564-10 ☎311-17☎0291-5-2111(代)



村民憲章

- 心身を鍛え教養を深め
文化の香り高い村をつくりましょう。
- 北浦の湖水と緑豊かな環境を大切に
美しく清潔な村をつくりましょう。
- 時間ときまりを守り
秩序ある平和な村をつくりましょう。

- お互いに助け合いまごころの通う
明るい村をつくりましょう。
- 仕事に誇りをもち
活力ある村をつくりましょう。

村の花／きく、村の木／ひのき、村の鳥／うぐいす

北浦中サッカー部 全国大会へ出場

全国大会
速報

ぼくたち広報豆記者です

成人式

この人にインタビュー

8月10日。東京・大井ふ頭球場で第18回関東中学校サッカー大会が行われました。全国大会出場校を決めるこの大会で、茨城県代表のわが北浦中学校は千葉県の市川第二中学校を破り、全国大会の出場権を獲得しました。おめでとう全国大会初出場。

やった
全国大会出場





北浦中 サッカー部

フレッシュ・イレブン

VS
市川二中
(千葉)

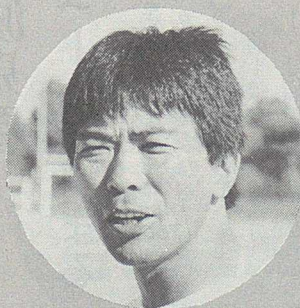
ハラハラドキドキの連続

つづく、代表決定戦。こんどは千葉の市川二中です。もう負けられません。前半は互角。双方積極的に攻撃しますが点が入りません。残り後半の三十分だけです。後半戦なかば市川二中の先取点が入ってしまいました。しかし、すかさずこちらも反撃。方波見君のシュートがゴール左すみに決まりました。同点です。

七本目、相手チームが外し北浦中の劇的な勝利が決まりました。

勝ちを決めた
小沢君のPK

PKでは勝ったことがないので心配しました。でも、みんながんばってくれたので感激です。



今泉監督

1点目
方波見君

2点目
久保木君



逆転劇
練習中

全国大会へ

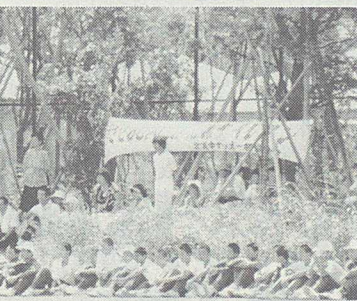
VS
暁星中
(東京)

かたくなった緒戦

今回の主なメンバーである三年生の合言葉は、一年生ときから「全国大会に行くんだ」というもの。かつては全国一になったこともある古河

一中や二中のある本県では県代表になるのも大変。これら茨城のチームを代表しての関東大会出場です。一回戦は東京の暁星中。とにかく一回勝てば全国大会に出場することができるのです。そのためか、どちらもかたさが見られるスタートでした。互角の戦いの前半終了五分前、暁星中が北浦中の守りを突いて一点先取。北浦中は自分達

▲ 1回戦は暁星中と



試合	1st	2nd	TOTAL
北浦中	0	0	0
暁星中	1	0	1

残念

フレッシュ・パワーの
北浦中

第18回 関東中学校 サッカー大会



全国大会までの戦績

県大会

一、竹園東	5	1	0	勝
二、駒王中	2	1	1	勝
三、古河二	2	1	1	勝
四、水海道	3	2	1	勝

関東大会

一、暁星中	1	0	負
二、市川二	2	2	負
(PK)	5	4	

代表権獲得

ヤッタ！入ったゾ！
方波見君のシュート



▼ 1回戦は村長もかけつけました



▲ 主将本戸君のシュート
▼ が決まる！



VS
遠野中
(岩手)

惜しい
もう五分あったら

本君のヘディングシュートがきれいに決まりました。応援団もこの一点でがぜん力が入ります。そして、前半終了五分前には本戸君のシュートも入り二点先取。さいさきはいスタートです。ところが、後半戦になるとみんな少しバテがみ、疲れがでたのでしうか十三分と二十分にそれぞれ点を取られ同点に追いつかれてしまいました。二対二。延長戦です。

延長戦に入ってからうって変わって、押せ押せ。前半には方波見君、後半には本戸君のシュートがあざやかに入り相手をつき放しました。関東大会と同じように見せ場を作った緒戦勝利です。

遠野中の応援団は、なんと大太鼓に長い学らん。東北伝統のバンカラスタイルです。チームの方は反対に明るいブレイ。

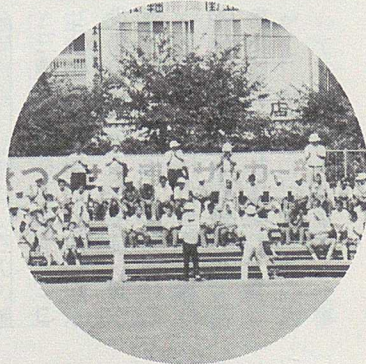


▶ 遠野中フリーキック

二回戦は二十二日、同じ藤枝市民グラウンドで行われました。前半戦は〇対〇。両チーム積極的にシュートしますが決まりません。全くの互角です。サイドが変わった後半戦も押しつ押しされつの戦い。十五分すぎ、相手のフリーキック。ゴールまではおよそ二十メートル。こちらは壁を作った防戦です。このキックが壁の間隙を突いて直接ゴールに。痛恨の一点です。しかし、終了まではまだ時間があります。北浦中積極的に攻めますが相手も必死に防御。タイムアップ。惜しい、もう五分あれば……。

でも、よくやった。素晴らしい試合に観客からもおもしろい拍手が送られました。

▶ 応援団もがんばりました



昭和62年度
第18回

全国中学校サッカー大会

1987・8/20-25

藤枝市民グラウンド
速報

よくやっただ北浦中

ベスト8進出ならず

二回戦で惜敗



▲ 14番根本君のヘディングシュート

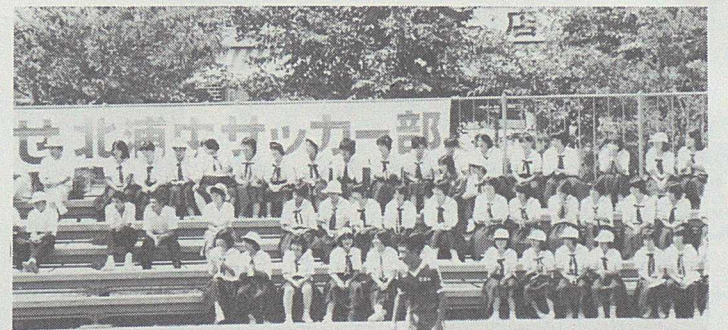
VS
高津中
(島根)

延長戦!! 方波見君
本戸君のシュートが決まる

前日、草薙総合運動場球技場で行われた開会式の感動もさめやらぬ翌二十一日。全国大会の第一回戦です。みんな緊張がみ。ベンチには応援の千羽鶴も下げられました。相手もスポーツ少年団からサッカーをしてきた選手たちでチーム力も接近しています。

前半戦。風も追い風でスタートは順調。パスもよくつながっています。開始七分、根

関東ブロック代表(茨城)として臨んだ全国大会。一回戦は中国ブロック代表・高津中学校(島根県・益田市)を延長戦のうえ四対二で破りましたが、二回戦で東北ブロック代表・遠野中(岩手県・遠野市)に二対〇と惜しくも敗れました。



▶ ガンバッテ

『やくば』ってどんな しごとをしているの



取材してみました

ぼくたち 広報豆記者です。

ふだんは気にもしなかつたけど、「やくば」
って何をするところなんだろう？
ぼくたちは、豆記者となつてさつそく取材
してみました。



▲ はじめは議会から

議長さんの席は
すごく高いんだ
ぼくたち豆記者は六人。男
の子が三人に女の子が三人で
す。役場の仕事を取材する前
にまず「北浦村議会」という
ところに行ってみました。
議会は役場の三階にあつて
ぼくたちも中に入るの初めて
で。普段は役場の人でもめつ
たに入ることができません。
なかに入ると真っ暗、照明
で明るくなるまでに少し時間
がかかります。「議場」には
いろいろおもしろい仕掛けが
ありました。押すと出てくる
名札や始まりのベル。録音室
もあります。一番高い議長席
にすわると全体がよく見えま
した。

役場の金庫の 中身は

三階の議会を下りると、こ
こからが本当の？役場です。
役場の係りの人たちは「課」
や「室」に別れて仕事をして
いました。これが全部で八つ
ほかに「教育委員会」と「農
業委員会」があります。

ぼくたちが豆記者です



小野 朋典くん
(津澄小6年)



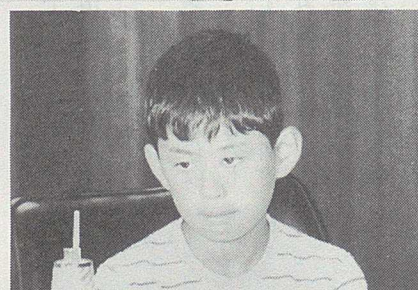
山野 知美さん
(津澄小6年)



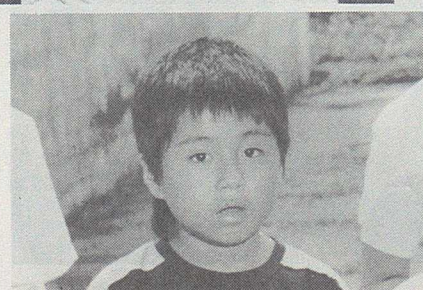
石崎 加代子さん
(要小5年)



栗 藤 直樹くん
(要小5年)



栗 俣 久晴くん
(武田小4年)



鬼沢 愛美さん
(武田小4年)

たくさんあるので受け持ち
に分かれていろいろ聞くこと
にしました。では報告しても
らいいます。
栗俣記者 —
ぼくは総務課で防災無線に
ついて聞きました。無線塔は
七十五本もあつて、三つの系
統で放送しているそうです。
鬼沢記者 —

の本やボールのお金は誰が払
うのか聞いてみました。こ
のお金は教育委員会が出すの
もあるし、PTAの方たちが
出しているのもあるというこ
とです。
斉藤記者 —

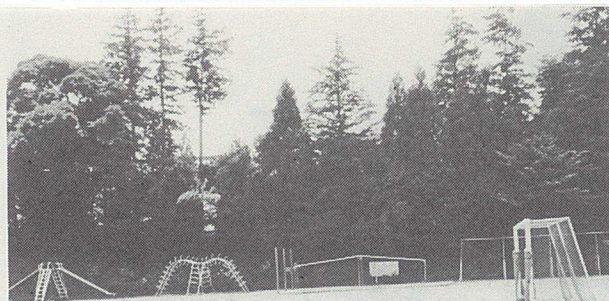
ようとしているところだそう
です。
石崎記者 —
農業委員会と保健衛生課に
いきました。農業委員会では



北浦の田と畑の面積を聞きま
した。ちょうど農業委員会の
会長さんがいて、みんなに将
来どんな農業をやって下さ
いと言っていました。保健衛
生課では犬に注射をしなかつ
たらどうなるか質問してみま
した。すると、狂犬病という
病気をふせぐためと分かりま
した。また、「こくほ」の係
では一カ月に病院にいった人
の書類が重ねてありました。三
十センチ以上の高さがあり、
たくさんの方が病気になるて
いるんだなあと思いました。

小野記者 —
ぼくは産業課と税務課に聞

いてみました。産業課は仕事
が忙しそうでほとんど外に出
ていました。産業課では農業
以外にも商業や観光の仕事も
しているそうです。税務課で
は税金の種類を聞いてみまし
た。税金には「村民税」「国
定資産税」「軽自動車税」「た
ばこ消費税」「電気税」「土
地保有税」などたくさん種類
がありました。みんな村を
経営するために必要なお金だ
そうです。
山野記者 —
わたしは調査企画室と住民
課に行ってみました。調査企
画室では十年後に北浦村には



▲ 要小の校庭

【Q】 齊藤—学校に授業をみに行くことはありませんか。
 村長—今のところはあります。直樹くんは見に来てもらいたいです。まあ、できるだけみんなを見に行く機会をつくるようにしましょう。

【Q】 小野—村長さんはなぜ村長になろうと思いましたが、村長—いや、むずかしい質問ですね。いろいろありますが、村をよくしようと思って

どんなものが出来ているか聞いてみました。それによると新しい道路や大きな公民館、体育館、グラウンドなどができているだろうということです。住民課では戸籍について質問しました。戸籍は昔からあっても江戸時代ごろまでたどることができるそうです。でも、偉い人でも戸籍がしまっている書庫に入ることが出来ないそうです。すごく重要なものだと思います。

簡易水道と上水道のちがいは

山田にある「簡易水道浄水場」は北浦で始めて水道を送り出したところだそうです。中に入ると大きな機械ばかりでビックリ。ここで水道係りの人に聞いてみました。

—どうして「簡易水道」って言うんですか？
 答え—規模が小さいからです。五千人以上の規模になると上水道と言います。

—北浦の水は使わないんですか？
 答え—潮来町では使っていますが北浦村は今のところ地下水です。でも将来はそういうことも考えていかなければいけないと思います。

村長さんに聞いてみました

取材2日目、ぼくたちは役場の責任者である村長さんにインタビューしてみました。

これから、一問ずつ質問していきますのでよろしくお願ひします。

【Q】 石崎—わたしが通っている要小の学校のことがなんでも、グラウンドが狭いうえに冬になると半分以上が「しもどけ」で使えなくなり運動が思うようにできません。なん

とかなりませんか。

村長—グラウンドを広くするのは土地を持っている人もいますからすぐにはいきませんね。でも冬になると半分以上使えないのは気がつきませんでした。校長先生やほかの人とも話合っ、直せるところは直してあげたいですね。



村長になりました。

【Q】 山野—村長さんのおもな仕事はなんですか。
 村長—まず、朝来たら各課からの文書、これには仕事のことが書いてあるんですが、この文書やたくさん書類に目を通します。そしていろいろなことを決めます。それから会議もあります。会議はそれぞれの仕事によってありますが、それを招集といって皆さんに集まってもらい、そこでいろいろなことを決めます。

【Q】 栗俣—北浦村にゴルフ場はできるんですか。
 村長—今、村には二つの会社からゴルフ場を作りたいとい

【Q】 栗俣—北浦村にゴルフ場はできるんですか。
 村長—今、村には二つの会社からゴルフ場を作りたいとい

【Q】 鬼沢—村長さんになつたとき、どんな気持ちになりましたか。
 村長—そうですね。せっかくなれたんだからがんばらなくちゃと思いましたね。

【Q】 齊藤—北浦村は町にはならないんですか。
 村長—人口は町になるには十分ですが、まず名前ばかりりっぱになるより村としての内容あるりっぱな村にすることが先じゃないかな。そう思っています。

【Q】 山野—村長さんになるにはどうすればいいんですか。
 村長—これは自分でなりたくてもなれないもので、四年に一度選挙というものをします。君たちも二十歳になると権利がでますが、選挙権のある人がどの人がいいか選ぶんですよ。

【Q】 栗俣—あとのどのくらい北浦村全部に水道がひかれるんですか。
 村長—うーん。十年か十五年ぐらいかかるかな。

▲ ゴルフ場が予定されている山田地区



【Q】 山野—無線の施設はどうしてつくったのですか。
 村長—この施設は、地震や火事などの災害ですね、そんなときに使うことが第一の目的ですが、そのほかにも広報紙や週報、回覧板などよりも早く情報というものをみなさんにお知らせすることができ

【Q】 石崎—わたしの家のほうでは、役場の無線が聞きず



▶ 防災無線



▶ 山田簡易水道浄水場の取材

らいんですが、よくなりますか。

村長—これは、だんだん改善していきますが、今年も悪いところをおおしました。これからもなおしていきます。

Q 齊藤—ぼくの家から学校に行くまでにゴミ回収場所があります。が、まわりがきたなくなっています。どうしたらいいでしょうか。

村長—そうですね。まずみんながゴミを取りにくる日に出すことですね。それと、やはりみんなが使う所ですからちゃんと囲いの中に入れるなどみんなで気をつけることで

▶ ゴミ集収所のまわりはみんなで清潔にすね。だれもきかないのはいいやです。からね。

うと思っています。あとしばらく時間がかかると思いますがね。



Q 小野—北浦村をどんな村にしたいと思えますか。村長—みんなが住んでよかったと思うような村にしたいですね。君たちがおおくなったとき、この村に生まれてよかったと言われるような所にしたいと思っています。

Q 山野—村長の仕事をし

たが、村長はみんなが決めるものです。でも、できること

Q 鬼沢—今のしごとをずっとつづけたいと思っていますか。

村長—さきほど言いました

の感想は。村長—これは非常に大変だと思いましたが、時間には追いつながら仕事をしていますから。

思いつくままにいろいろ聞いてしまいましたが、村長さんの仕事もいそがしいそうデシタ。



みなさんがたのしく勉強できるようにそして、ここに生まれてよかったと思えるようにいっしょにがんばりましょう。

子どもたちの質問はどれも難しいものばかり、答えるのも大変でした。

▶ 拡幅が急がれる要一号线(村道一〇六号線)



SUMMER TWENTIES



成人おめでとう

8月15日。恒例の北浦村成人式が北浦村公民館で開催されました。今年の成人者は166人。式典では村長の式辞につづぎ、成人者代表の額賀秀雄さんが誓いのことを述べました。また、記念植樹とパーテーで成人を祝いました。参加者は142人、85.5%の参加率でした。



▲「誓いの言葉」を述べる額賀秀雄さん



▲「ちやほひば」の記念植樹



横田 専一さん

今回は歌人の横田専一さん（七十八歳・東京都杉並区在住）を訪ねました。最近「北浦村」と題する短歌十三首を発表されましたが、「めたぼりずむ」をはじめとする歌集により現代歌人として有名です。

—— そうですね。十二、三歳まででしょうか。十二、三歳までのころでしょう。

菜の花畑が目に見え

浮かびます

横田さんは今回の短歌で北浦村のことを歌っていますが、何歳ごろまで北浦村にいらしたのでしょうか。

私は旧津澄村繁昌の高木医院というところに生まれました。旧姓は高木なんです。のちに結婚して横田になりましたが、ここで歌っているのはおもに子どものころ、津澄尋常小学校を出てから旧制水戸中学に行くまでのことが中心

—— そのころの北浦村はどんなところだったんでしょうか。どこでも同じでしょうが、今とは全然違う所でしたね。ときどき帰郷しますが随分変わりました。

去年亡くなった宮柊二さんがちやうど終戦の年に繁昌に居たそうですが、宮さんが奥さんに出したはがきに「こちらら酒屋に何里、豆腐屋に何里の口だが植物、草が生きて美し」というのがあります。本当はそんなに何里もかかるわけではありませんでした。高台に登れば

湖に浮かぶ船やはしけが松の木越しに見え隠れして、まあ人情味の厚い北浦の美しい時代でしたね。

—— 短歌はいつごろから始めたのでしょうか。

かなり前からつくっていたんですが、本格的になったのは昭和十三年ごろからですか。津澄小学校時代は「赤い鳥」の全盛期で、岡里先生という方がよく私達に童謡を作るように指導していましたね。

—— 詩や散文、俳句でなく短歌に傾いたのはなぜでしょう。

自然にそうなったということでしょうね。要するに日本人というのは短いことばで感情を出すことができますが、そうすると俳句か短歌になります。しかし、俳句の方が字と字の間の空間が広いものです。それにくらべると、どちらかというと短歌の方が感情に即しているような気がしますし、私に合っているように思っただけでしょうね。

つまり、感情は一瞬のものです。これが等価のものを残したいというには、短歌の方がより自然なような感じがしたのです。

—— 歌をつくる上で子どものときの環境はどのようなものでしょうか。

よく原体験といいますが、菜の花が一面に咲いていた田圃が広がっていたりと、そんな自然の中で先ほども言ったように、人と人との人情があったことはよかったですね。少年時代は特別なことは何もありませんでしたが、今になると懐かしく思い出します。

—— 時々お帰りになるそうですが、北浦の変りかたというものはどんなものでしょうか。

まあ、目に見えるところでは、道がよくなったり、家が立派になったというものが、やはり言葉が変りましたね。方言があまり聞かれなくなり、発音などの細かな点は変わりませんがね。それ

この人に インタビュー

と、山の景観などの自然が変わったでしょうか。少し味けなくなりました。うなづかぬような気がします。

—— 今回の他にも郷里北浦を歌った歌はありますか。

ええ、あります。誰でもそうですが、年をとると自然とそういうものがふえていきますね。特に意識しているわけではありませんが、北浦村に

—— そこにある風景はどんなものでしょうか。

先ほどいったようなものですが、やはりそこには私の先

生活感情を素直に歌うのが短歌です

—— ところで、今は「サラダ記念日」の登場で多くの人が短歌に注目していると思いますが、そのへんはどう思いますか。

そうですね、わたしはあれはあれでいいと思います。俵

万智の場合はある意味で啄木と同じようなところがあるんじゃないでしょうか。反逆心というものです。それが自然に出ていておもしろいと思います。もともと、偉い先生に言わせると短歌じゃない、軽口という人もいますが、でも、要は自然に歌うことです。難しいことを考えて歌う必要はないんですから。

—— それでは、一般の人で短歌をつくりたいという方が何かアドバイスをお願いします。

みなさんお忙しいでしょうが、かえってそういうときの生活感情を素直に歌えば、それでいい歌ができると思います。生活していることを残す。生活していることを残せる「場」として歌を考えてください。題材はたくさん身のまわりにあるんですから。

—— でも、難しそうですね。

歌は歴史も長いですが、そういう意味で難しいところもあると思います。また、あ

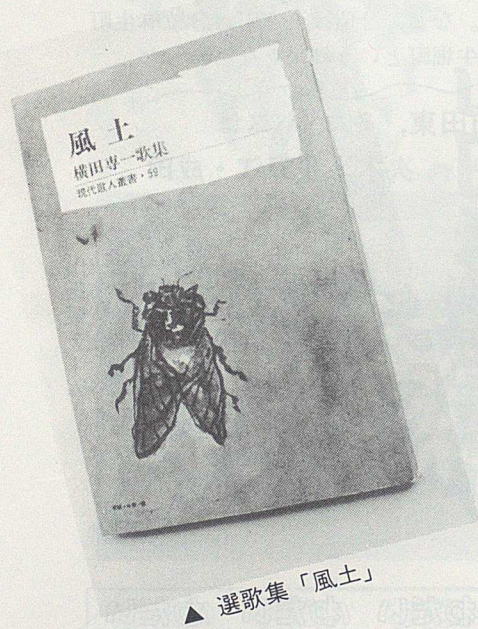
ば歌になるかも分かってきてしまふものです。しかし、真実の表現は抽象的な言葉でもなし、生活していく上での痛切な感情を素直に出したものです。ですから、かえって難しく考えない方がいいんです。

—— 最近の作品ではどのようなものがありますか。

いや、近頃はめんどくさくてあまり出していません。昭和五十六年に選集を出しましたが、歌集としてははばらくまとめていないので、そろそろと思っているんですが、最近病気をしたこともあって集中力がまだたまりませんね。

—— 素晴らしい歌集を期待しています。ありがとうございます。

病氣療養中のところでしたが、快く迎えていただきまして。お話の中では、自然という言葉が多く聞かれましたが、自然環境とともに「心の自然さ」の大切さをより感じました。



▲ 選歌集「風土」

注 一 宮柊二（歌人）昭和二十八年「コスモス」創刊。
俵万智（歌人）昭和六十二年歌集「サラダ記念日」発表。



夏のまつり、山田祇園祭りが今年も勇壮に行われました。今年では山車や神輿ですで時間もおおくなり、夕方から夜にかけて日中の暑さを忘れる盛り上がりを見せていました。

蟬の声と祇園の音色。夏の風物詩ですね。



7月29日、4Hクラブ（会長仲居善仁さん）のみなさんが北浦湖岸の空かん拾いを行ってくれました。4Hクラブでは毎年このボランティア活動をつづけていますが、今年もトラック半分ほどの空かんを回収しました。

空かんは持ち帰る習慣、心がけたいものですね。



7月5日及び12日に麻生町で開催された第35回
行方郡民体育大会において、北浦村が8年ぶりに総合
優勝に輝きました。なお、2位は玉造町、3位麻生町
4位潮来町、5位牛堀町という結果となりました。

子ども会 ～
球技大会

ソフトは山田東、ミニ・バスは
次木・長野江・成田

八月二日、子ども会の球技大会が開催されました。子どもたちのハッスルプレー。結果は次のとおりでした。

ソフト・ボール	山田東
優勝	山田東
準優勝	三和連合
第三位	行戸 山田西
□ミニ・バスケツト	
優勝	次木・長野江・成田
連合	
準優勝	三和連合
第三位	中根・あけぼの・吉川連合
	高岡・行戸



スポーツ の結果

スポーツ の結果

第十九回村内野球大会
 六月十七日・七月二十六日
 村民グラウンド

優勝	武田キラース
準優勝	北浦村農協
第三位	さんゆうクラブ

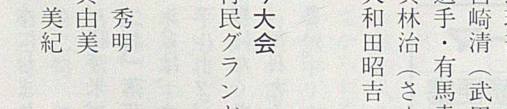
村職野球部
 最優秀選手・宮崎清（武田キラース）
 優秀選手・有馬幸一（農協）
 額賀林治（さんゆうクラブ）
 大和田昭吉（村職野球部）

子どもすもう大会
 八月九日・村民グラウンドすもう場

○一年生の部	優勝 有馬 秀明
準優勝	本戸真由美
第三位	大里 美紀

○三年生の部

女の子も強かった



優勝 塙 忠夫
準優勝 塙 孝喜
第三位 島田 毅
○四年生の部
優勝 大堀 益弘
準優勝 阿須間陽平
第三位 河野 滋久
○五年生の部
優勝 伊藤 徹也
準優勝 横瀬 真一
第三位 沼里 伸一
○六年生の部
優勝 小野 朋典
準優勝 宮下 宏介
第三位 尾高 宏充
***努力賞** 溝口真由美



■ 9月1日は「防災の日」 ■

いざというときのために
家族防災会議を



もし、いま地震
が起きたら……残
念ながら現在の科
学では、地震の発
生を防止すること
はできません。し
かし、ふだんから
地震に対する心の
準備をしておけば、被害を最小限度に抑える
ことができます。

9月1日は「防災の日」です。これを機会に、家族みんなで「家族防災会議」を開いて

ください。そして、いざというとき、それぞれがどのように行動すればよいかを考えてみてください。家族防災会議では、次のようなことを話し合ってみてはいかがでしょうか。

- ▶ 家族の役割分担
- ▶ 火の始末と初期消火の方法について
- ▶ 離ればなれになったときの家族の連絡先と連絡方法
- ▶ 避難場所と避難路の確認
- ▶ 水、食料などの備蓄と非常持出品の準備
- ▶ 家具・危険物などの点検整備
- ▶ 家の回りの危険な場所の点検



夏に必要な

ビタミン

「保健婦さん、からだが大変暑くて朝になっても疲れがとれない。何かよい方法はないものでしょうか」夏になるとこんな健康相談が多くなりま

す。そこで今回は、夏場に特にとって欲しいビタミンB₁とCについて考えてみましょう。気温が三十度以上になるとビタミンB₁の消費が高まりそのため食欲がおちたり、疲れやすくなったりします。また暑さがますますつれて、これが大きなストレスとなり、副腎皮質ホルモンが大量に必要になってきます。この合成にはビタミンCがなくてはならないものなのです。ただしこ

では是非知っておいて欲しいことは、この種のビタミンだけをとっていても、意味がないということ。必ず栄養のバランスのとれた食事の中



十分に取るようにして下さい。必須栄養素には、八種類の必須アミノ酸、十六種類のミネラル（カルシウム、リン、鉄、ナトリウム、カリウムなど）、二十種類近いビタミン（A、B₁、B₂、Cなど）が体の中で一つのチームを組んで働いており、このどれか一つ欠けても、体全体の働きが正常でなくなるといわれています。いいかえれば、一つの栄養素が欠乏すると、生命の働きがその欠乏したレベルにまで低下してしまうのです。

タミンをとるようにしましょう。ビタミンB₁は、胚芽米、レバー、豚肉、かつお、落花生などに。ビタミンCは、オレンジ、グレープフルーツ、レモンなどの柑橘類にたくさん含まれています。毎日とるよう心がけて下さい。

訂正

七月号「この人にインタビュー」欄で小林秀雄さんの年齢八十二歳は七十八歳の誤りでした。最終項県政教室実施日は十一月六日の誤りでした。いずれもお詫びして訂正します。

のびのび育て

根田 貴浩くん(三ヶ月)とおかあさんの よし子さん



三番目の子どもです。上の二人も男の子でまた賑やかになりそうです。髪は三人ともくせ毛なんです。それぞれ性格が違います。元気で育って欲しいですね。七月二十日育児で

このような点から、日常の食事を十分にとらずにビタミン剤だけ飲んでいても、夏バテ防止にはならないことがおわかりになるでしょう。必ず栄養のバランスのとれた食事の中で、夏に不足しがちのビ

健康テレホンサービス 公土浦(0298) 22-2600へ

9月のテーマ		10月のテーマ	
月	狭心症と心筋梗塞(その1)	月	狭心症と心筋梗塞(その2)
火	五十肩	火	発育期のスポーツ障害シリーズⅠ 小学生
水	「自律神経失調症」とは?	水	発育期のスポーツ障害シリーズⅡ 中学生
木	肥満は万病のもと	木	発育期のスポーツ障害シリーズⅢ 高校生
金	女性に多い低血圧症	金	妊娠中の性生活
土・日	コンタクトレンズで注意すること	土・日	包茎

ふるさとと昔

唐ヶ崎長者

(行戸)

むかし、玉造町と北浦村行戸とにまたがるあたりに年老いた父親と二人で貧しい暮らしをしている若者がいました。若者は朝早くから夜遅くまで働き、しかも父親にたいへん孝行をしていました。

ある日、いつものように早く起き、山に行つて草刈りをして、山に帰ると乾いたのどで「どこかに水はないか」とさがし回りました。すると草刈りの中に小さな水たまりがあったのです。若者は喜んでその水をすくって一口飲んでびっくりしました。

「こ、これは酒だ。うまい酒だ」若者は生きかえつたように元気になる、草刈りにも精が出て、またたくうちに馬に山ほど背負わせて家に帰りました。湧水が酒になったのを父さんにも飲んでもらいまし

た。「こりやあうまい。上等な酒だ。」

「不思議だなあ。実に不思議だ……」と首をかしげて感心するばかりでした。

次の日も、その次の日も……行つてみると、やっぱり湧水は酒でした。若者はこれに壺にいれて持ち帰るお父さんに飲んでもらいました。

その後いく日か過ぎたある晩のことです。若者の夢枕に白髪の老人が現れ、「私は稲荷の神である。お前は平素から親孝行で、信心深い、だからあの水を酒にして与えたのだ。これからは今の心を持ち続けよ」といつて消えました。若者は目をさまし、「不思議な夢を見た。正夢であつてほしい」と心に念じながら、身を清め稲荷様にお参りしてお礼をのべました。そして、「あのお酒をいただき、ここで売つてもいいでしょうか」とお願いをしてみたのです。

若者はここに酒屋を出しました。すると、買って飲んだ人は口々にみんな「こんなうまい酒は飲んだことがねえ」



といって大繁昌でした。

そのため、何年もたたないうちに長者と言われる程になりました。りっぱな屋敷に住み、その家は唐木造りでした。唐木造りとは、中国から渡来した紫檀・黒檀などの珍しい木で造つた家のことです。

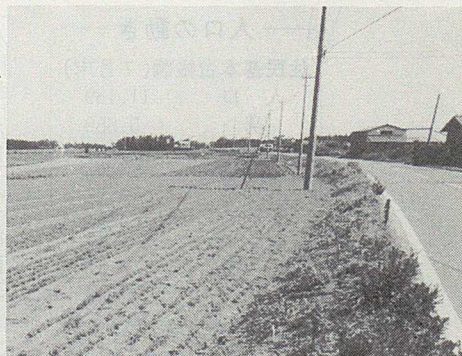
それから何年も何年もたつてからのことです。八幡太郎義家が奥州征伐の途中、唐ヶ

崎長者の家に泊めてもらいました。長者は喜んで歓待しました。三度三度の食事は珍しいものをばかり、膳わんも同じものをういませんでした。

この長者は松ヶ枝四郎兵衛(四郎左衛門)と名乗り、三百間(約五百四十メートル)四方の土塁を築き、三十棟の広大な屋敷に住んでいました。義家は七日間滞在し、長者にお礼をいつて別れました。

しかし、しばらく行つて義家は考えました。「われらの軍勢千人を泊められるほどのこんな長者をこのままにしておいたら、この先どんなことになるかわかったものではない」です。

行戸唐ヶ崎



きたうら

(俳句) 高野 三千春 選

暑気中り母の看りしうなじかな
風鈴鳴る風の方位を音に知る
暑気中りらしや仕事もほどに本戸さく子
扇風機母に風向き向けて
奥座敷うた、寝の暑気中り
自が肢邪魔にするほど暑気中り
暑気中り酢物ばかり箸つけて
暑気中り空廻りする置時計
暑気中り夫にあまえること久し

野村 すす
根本 勝子
坂本 トク
仲居いみ子
横田 みつ
石上ちか子
土子 文江
松本 玉江

大根にいびられている暑気中り
点滴の入るだるさや暑気中り
さからわず今日はごろりと暑気中り
暑気中り妻の口数重くなり
石垣の密に組まれて十薬咲く
暑気中り墓石動くごとくなり
手も口もはたらく厨鋸雲
水着干す彩で兄弟分けいたり
【評】
第一句 暑中御見舞申し上げます。
第二句 風向が変わりました。
第三句 暑気あたりは苦しいものです。

8月～9月のカレンダー

紙芝居を 募集します

日	曜	時 間	場 所	行 事	備 考
30	日	午前8時から	村民グラウンド	村内野球大会	2 日 目
31	月	午後1時30分 から2時30分	母子 健康センター	母子保健教室	後 期
9月 4	金	午前9時から	北浦村公民館	食改進中央 研修会	減塩食セミナー
6	日	午前8時から	村民グラウンド	村内野球大会	3 日 目
9	水	午後1時30分 から2時30分	母子 健康センター	3歳児健康診査	対象59年6月19日 ～9月9日生まれ
10	木	午後1時30分 から	北浦村公民館	水墨画講座	
11	金	"	"	七宝焼講座	
17	木	午後1時30分 から3時	老人 福祉センター	老人健康教室	「ボケ予防」 講 演 会
18	金	午後1時30分 から2時30分	母子 健康センター	妊婦健康診査	
24	木	午後1時30分 から	北浦村公民館	水墨画講座	
25	金	"	"	七宝焼講座	

“ものを大切にする心”を育てるために、主として幼児を対象に資源・エネルギーのむだをなくすことを教える紙芝居を募集します。

◎応募資格

県内に居住または勤務する者
(個人または共同作品)

◎テ ー マ

幼児に対して「資源・エネルギーを大切にする心」を育てる」ことを訴えるもの。

◎応募期間

9月1日から10月30日
(郵送の場合消印有効)

◎作品規格

①B3判厚紙10枚程度②図案、着色数、画材自由③1枚目は表紙と題名④文章の記入は、絵とストーリーが1枚毎に繰り返されるようにします。

◎応募・問い合わせ先

茨城県生活福祉部県民室民生課
☎0292-21-8111
内線2872

◎入選5点(賞状及び賞金3万円)

佳作10点(賞状及び賞金1万円)
入選作は県内の幼稚園、保育所等に貸し出しする等積極的に活用します。

人口の動き

住民基本台帳調(7月末)

人 口	11,139
男	5,559
女	5,580
世帯数	2,457
転 入	15
転 出	11
生 出	12
死 亡	8

○北浦中学校サッカー部のみなさん全国大会出場おめでとうございます。静岡の大会では惜しくも敗れましたが、これまでの健闘に拍手を送りたいと思います。また、選手を送り出してくれた学校、父兄のみなさん、本当にありがとうございます。これからも全国一を目指しがんばって下さい。

あとがき

